

ST・SDS・SSH研究発表会「ポスターセッション一覧」

分野	内容	会場	グループ	ポスター番号	所属	氏名/チーム名 (人数)	タイトル	研究概要
まちづくり・地域活性	都市計画／インフラ／防災／観光産業	体育館	⑨	25	清田高校	***** (2人)	清田のまちづくり	私達は清田のまちづくりについて探求しています。地域課題である人口減少などを自分たちの経験から海外と比較して、学んだことを話したり、イラストマップの考案やボランティア活動など実際に行動したいことやしていることについて紹介したいです。
				26	旭丘高校 (DS科1年)	3班 (5人)	札幌にオリンピックを呼ぼう	ミラノと札幌市の2026年冬季オリンピック誘致に対する賛成割合の差から、ミラノと札幌市の開催概要の違いを調べました。そこから、どのようなことを行えば札幌市の市民意識を変化させることができるのか考えました。
				27	旭丘高校 (DS科1年)	霜花 (4人)	雪による交通と環境の関係について	私達は、札幌市内で起こった事故数と降雪量の関係を、降雪量が多くなればなるほど、事故数は多くなるという仮説のもと調査をしています。主にオープンデータを用いて、グラフの分析や相関係数を計算し、統計学的な値から考えるなどの取り組みを行っています。また、結果から事故数と気温差の関係も調査しています。
			⑩	28	開成中等	***** (4人)	粘菌を用いて地域の防災を最適化	私たちは地域の防災に貢献することを目的に活動しています。胆振東部地震では、多くの場所で液状化現象が確認されました。私たちは、最短経路を導き出すことができる「粘菌」のメカニズムに着目し、それを活用することで、少しでも多くの人々の命を守る手助けができればと考えています。
				29	旭丘高校 (DS科1年)	災害対応班 (4人)	避難所データから考える課題と解決策	私達は札幌の避難所が人口や災害の頻度を考慮した数になっているのか調べました。札幌市が出している避難所ポータルという避難所マップや区ごとの避難所が掲載されているサイトを使ったり、オープンデータを活用して調べました。
				30	旭丘高校 (DS科1年)	ピグレッツ (5人)	都市開発と交通量について	私達は札幌市のオープンデータを用い、交通量と人口のデータから都市開発に向けた土地を探しました。その結果、多くの場合で交通量が多いほど人口も多いということがわかりました。そこから、交通量が多いが人口が少なかったり、都市開発が進められていないところを見つけ、どのように開発したらどのくらいの経済効果が出るか求めました。
			⑪	31	旭丘高校 (DS科1年)	ぐりち (5人)	緑被率と人口密度の関係	私達は緑被率と人口密度の関係について人口密度が多い区ほど緑被率が低く、人口密度が低い区ほど緑被率が高いという仮説を立て、オープンデータを用いて研究しています。その結果、人口密度が高い区は緑被率が低いという傾向がみられました。この結果を都市計画や子育てに活かしていけないかさらに研究しています。
				32	旭丘高校 (DS科1年)	有言不実行 (2人)	都市交通の格差と発展	私たちは、札幌市10区の中で唯一地下鉄やJRの駅がない札幌市清田区の公共交通機関について調べています。その結果、清田区は札幌市の他の区と比べバスの利用者が多いことがわかりました。そこで私たちは、清田区では地下鉄やJRの代わりにバスが発展していると考えました。
				33	旭丘高校 (DS科1年)	地球環境守り隊 (3人)	気候変動による暮らしの影響について	北海道(主に札幌市)の気候変動による暮らしの変化について、「光熱費」「環境」「農作物」の3点に注目して調査しています。現時点で、「環境」では、降水量の変化はあまりないものの、平均気温が年々上昇している。「農作物」は、温暖化による豊作の農作物もあるが、病気や暑さの影響で上手く育たないといった問題が起こっている。「光熱費」は、灯油消費量が多くなっている。ということがわかりました。
			⑫	34	旭丘高校 (DS科1年)	10分後行動 (4人)	AIと札幌の観光	僕たちのチームは、最近AIの急激な進歩に興味を持ち、その力で札幌の街をより良くできないかと考えました。そこで目をつけたのは、「札幌の観光業にAIを導入すると」という疑問を持ちました。具体的には、観光業にAIを導入しているシンガポール、中国のオープンデータを参考に現在の札幌の情報と比較しました。そこから予想される結果を、AIの力と組み合わせるとシュミレーションすると、伸びる可能性は充分にあることがわかりました。現在は、札幌にAIを導入するとは具体的にどのようなものが考えられるかを調べています。
				35	旭丘高校 (DS科1年)	札幌まもり隊 (4人)	未来の札幌	私たちは働く世代が住みやすいまちを作るために、清田区方面への東豊線の可能性を研究しました。清田区は札幌市で唯一地下鉄がないため通勤負担が大きい一方で、延伸計画は何度も中止されています。そこで、清田区方面に東豊線を延伸するのは費用的効果があるのか研究しました。